



2025年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年4月14日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東
 コード番号 3266 URL <http://www.fc-group.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 吉田 隆 (TEL) 03 (5212) 5212
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年11月期第1四半期の連結業績 (2024年12月1日～2025年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第1四半期	429	△21.9	△71	—	△77	—	△59	—
2024年11月期第1四半期	549	14.5	△44	—	△62	—	△59	—

(注) 包括利益 2025年11月期第1四半期 △62百万円(—%) 2024年11月期第1四半期 △50百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期第1四半期	△1.59	—
2024年11月期第1四半期	△1.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年11月期第1四半期	6,569	2,953	45.0
2024年11月期	5,806	3,054	52.6

(参考) 自己資本 2025年11月期第1四半期 2,953百万円 2024年11月期 3,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2025年11月期	—	—	—	—	—
2025年11月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年11月期の連結業績予想 (2024年12月1日～2025年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	6,000	5.8	440	1.2	370	8.5	220	9.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年11月期 1 Q	37,686,371株	2024年11月期	37,686,371株
2025年11月期 1 Q	33,301株	2024年11月期	33,301株
2025年11月期 1 Q	37,653,070株	2024年11月期 1 Q	37,653,070株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

発行済株式数に関する注記

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績に見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年12月1日～2025年2月28日)における我が国経済は、堅調な企業業績を背景に業況感は良好な水準を維持しており、雇用・所得環境も緩やかな改善を続けております。一方で、世界的な経済・物価の動向の不確実性が高まっている中で、国内では従来の緩やかな金融環境からの転換が図られており、金融・為替市場の見通しは不透明な状況となっております。加えて、人手不足の進行や国際関係の不安定化など、我が国経済を取り巻く環境は絶えず変化しており、経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業が属する不動産業界では、引き続き投資家の物件取得意欲は高い状況にあり、国内外の投資家による活発な物件の売買が行われております。今後についても、物件価格と収益性のバランスを慎重に検討しながら、新規物件の取得を行ってまいります。

また、太陽光発電業界におきましては、長期間にわたって安定した売電収入が期待できる投資商品としての需要に加え、ESG投資を行う投資家や、カーボンニュートラルの実現に取り組む大手企業の投資ニーズが高まっております。また、2025年2月に新たに閣議決定されたエネルギー基本計画では、2040年度の電源構成目標として再生可能エネルギー40～50%程度が掲げられるなど、引き続き政府による再生可能エネルギー普及促進が続いております。

運送業界では、トラックドライバーの時間外労働の上限規制などのいわゆる「2024年問題」により、中小の物流事業者の財務改善、資金調達ニーズが高水準で推移しており、当社グループが展開するトラックのリースバックは需要の拡大が見込まれます。

こうした状況の下、アセットマネジメント事業においては、引き続きファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高の増加に向けて、投資家ニーズに適合した魅力的な商品開発に努めております。

インベストメントバンク事業においては、投資妙味のある不動産とリースバック用車両の取得に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高429百万円(前年同期比21.9%減)、営業損失71百万円(前年同期の営業損失は44百万円)、経常損失77百万円(前年同期の経常損失は62百万円)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は59百万円(前年同期の親会社株主に帰属する四半期純損失は59百万円)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を除いた売上高で表示しております。

<アセットマネジメント事業>

当第1四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は220億円(一部円換算US\$1.00=149.67円)、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は189億円となり、不動産ファンド、太陽光発電ファンド、証券・事業型ファンドの各ファンドにおいて、アセットマネジメントフィー等を計上いたしております。この結果、アセットマネジメント事業全体では、売上高128百万円(前年同期比3.9%減)、セグメント損失2百万円(前年同期のセグメント利益は16百万円)となりました。

<インベストメントバンク事業>

不動産投資事業では、国内不動産の取得が完了しております。また、車両リースバック事業においては、リースバック用車両の取得を実施いたしました。この結果、インベストメントバンク事業全体では、売上高300百万円(前年同期比27.7%減)、セグメント利益23百万円(前年同期比20.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ762百万円増加し6,569百万円となりました。これは主に、現金及び預金が805百万円減少した一方で、棚卸資産が1,258百万円、短資貸付金が265百万円増加したことなどによるものです。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ863百万円増加し3,615百万円となりました。これは主に、棚卸資産の取得に伴い短期借入金が増加し1,276百万円となったことなどによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ100百万円減少し2,953百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上や配当金の支払いにより利益剰余金が97百万円減少したことなどによ

るものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結業績は上記の通りであり、2025年1月14日付で発表いたしました連結業績予想に変更はございません。なお、今後の業績等につきましては、様々な要因により大きく異なる可能性があります、何らかの変化がある場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,837	1,032
売掛金	79	81
未収入金	181	122
有価証券	120	133
営業投資有価証券	388	406
棚卸資産	2,154	3,412
短期貸付金	91	356
その他	56	119
流動資産合計	4,909	5,664
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5	5
工具、器具及び備品(純額)	13	12
土地	402	402
有形固定資産合計	420	419
無形固定資産		
その他	2	2
無形固定資産合計	2	2
投資その他の資産		
投資有価証券	222	227
その他	239	243
投資その他の資産合計	461	471
固定資産合計	884	893
繰延資産		
開業費	12	11
繰延資産合計	12	11
資産合計	5,806	6,569
負債の部		
流動負債		
短期借入金	563	1,276
1年内返済予定の長期借入金	167	167
1年内償還予定の社債	—	16
未払金	213	204
未払法人税等	76	1
賞与引当金	53	8
役員賞与引当金	9	2
投資損失引当金	14	14
預り金	116	79
前受収益及び契約負債	5	386
その他	76	29
流動負債合計	1,297	2,187
固定負債		
社債	—	34
長期借入金	1,415	1,374
その他	40	19
固定負債合計	1,455	1,428
負債合計	2,752	3,615

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180	1,180
資本剰余金	677	677
利益剰余金	1,078	981
自己株式	△1	△1
株主資本合計	2,935	2,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118	115
その他の包括利益累計額合計	118	115
非支配株主持分	0	0
純資産合計	3,054	2,953
負債純資産合計	5,806	6,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
売上高	549	429
売上原価	437	330
売上総利益	112	98
販売費及び一般管理費	156	170
営業損失(△)	△44	△71
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	6
為替差益	1	—
その他	0	0
営業外収益合計	3	6
営業外費用		
支払利息	17	9
為替差損	—	0
その他	3	3
営業外費用合計	20	12
経常損失(△)	△62	△77
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失(△)	△62	△77
匿名組合損益分配額	0	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△62	△79
法人税、住民税及び事業税	1	△0
法人税等調整額	△4	△19
法人税等合計	△3	△19
四半期純損失(△)	△59	△59
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△59	△59

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
四半期純損失(△)	△59	△59
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△2
その他の包括利益合計	9	△2
四半期包括利益	△50	△62
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△50	△62
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、この変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	アセットマネジメント事業	インベストメントバンク事業	
売上高			
外部顧客への売上高	133	416	549
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	—	2
計	136	416	552
セグメント利益	16	19	36

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	36
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△81
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△44

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	アセットマネジメント事業	インベストメントバンク事業	
売上高			
外部顧客への売上高	128	300	429
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0
計	128	300	429
セグメント利益又はセグメント損失	△2	23	21

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	21
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△93
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△71

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)
減価償却費	1百万円	1百万円